

# 第1学年 道徳科学習指導案

日 時：令和4年11月10日（木）

児 童：中標津町立中標津東小学校 1年1組（31名）

授業者：中標津町立中標津東小学校 教諭 塩沢 祐菜

1. 主題名 「いつも正直に」  
【A-2 正直，誠実】

2. 教材名 『どんぐり』  
(出典：「新訂あたらしいどうとく1」東京書籍)

## 3. 主題設定の理由

### (1) ねらいに対する教師の捉え（指導観）

今回の授業のねらいは「うそでごまかしてしまう主人公の姿を通して、自分の過ちを正直に言う難しさや、うそやごまかしをしないで明るい心でいることが大切だということに気付き、これからの自分の生活では、うそでごまかさず、素直に伸び伸びと明るい心で生活していこうとする心情を養う」とした。明るい心で楽しく生活するためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることや、自己の過ちを認め、改めていく素直さが求められる。うそやごまかしをすることは、一時しのぎにすぎず、真の解決には至らない。いけないことをしてしまった場合には、素直に非を認め、謝ることが求められる。指導に当たっては、正直で素直に伸び伸びと、明るい心で生活することのよさについて考え、これからの自分の生活では、うそでごまかさず、素直に明るい心で生活していこうとする心情を養うことが大切である。

### (2) 児童の学習状況や実態について（児童観）

今年度、内容項目A-2（正直，誠実）で授業を行うのは初めてである。本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。日常生活においては「うそを言ったり、ごまかしをしたりしてはいけない」ということについて、一定程度の理解を示している。しかし、日常生活の中で都合が悪くなるとごまかしてしまうことがある。また「なぜうそをついてはいけないのか」ということについては、低学年の発達の特徴から「怒られるから」などと、他者から叱られたり笑われたりすることから逃れようとする気持ちが強く関係してくる。今回の授業を通して、正直に言うことの難しさを理解しながらも、正直でいることのよさについて考えたい。

### (3) 教材の活用方法（教材観）

『どんぐり』は、ダメだとわかっているながらも、よりみちをしてしまい、お母さんにうそをついて、よりみちをしてしまったことを隠そうとする主人公の姿を取り上げている。帰りが遅くなり、お母さんに心配されるも、本当のことを言えずに2回うそをついてしまう主人公。本教材を通して、主人公の気持ちを理解しながら、人間の弱さを理解させたい。また、教材の続きを考えたとき「自分ならどうするか」を考え、正直でいることの難しさを考えつつも、正直で素直に伸び伸びと生活することのよさについて考える。本教材は、うそやごまかしをしないで、明るい心で楽しく生活していくことの大切さを考えるのに適した教材であると考えられる。

## 4. 研究とのかかわりから

### (1) 頭が働く指導過程

導入では「うそはいけない、でもついてしまうことがある・・・」という人間の弱さと児童の経験を共有する。展開前段では、主人公の姿を通して、うそをついてしまった時にはどんな気持ちになるか考える。展開後段では、ようすけはどうすればよかったか考える中で、正直でいることのよさについての理解を深める。ようすけの行動や思いに共感しながら考えていく中で、正直に言う難しさを理解しながらも、素直に伸び伸びと明るい心で生活していくことのよさについて考えたい。

### (2) 心が動く発問

中心発問後に「ようすけは、どうすればよかったか」と問うことで、正直に言うことのよさや難しさを考えたい。また「もし自分だったら？」と問うことで、自分事として捉え、自分の経験や感じ方と照らし合わせながら考えることができるようにする。この発問を通して、嘘をついたことを正直に言う難しさや、それでも正直にすることが大切だということに気付き、これからの自分の生活は、嘘でごまかさず、素直に伸び伸びと、明るい心で生活することのよさに気付くことができるようにする。

## 5. 本時について

### (1) 本時のねらい

うそでごまかしてしまう主人公の姿を通して、自分の過ちを正直に言う難しさや、うそでごまかしをしないで明るい心でいることが大切だということに気づき、これからの自分の生活では、うそでごまかさず素直に伸び伸びと、明るい心で生活していこうとする心情を養う。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童生徒の反応	□教師のかかわり
導入	<p>○うそをつくことについて問い、本時のテーマを知る。</p> <p>「うそはどうしていけないの？」</p> <p>「しょうじきでいることのよさってなんだろう？」</p>	<p>□「うそはいけない」から「正直でいることのよさ」に繋げる。</p>
展開前段	<p>○資料の内容を聞き、主人公（ようすけ）は、どのような人か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うそつき</li> <li>・ほんとうのことをいえないひと</li> </ul> <p>○自分も同じような経験があるかを問い、主人公（ようすけ）の心情に共感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかあさんにうそをついてしまったことがあるよ</li> <li>・ともだちに、ほんとうのことをいえなかったことがあるよ</li> </ul> <p>○1回目の「どきどきした」と2回目の「もっともっとどきどきした」時の主人公（ようすけ）の思いを考える。</p>	<p>□主人公（ようすけ）がついてしまった嘘はなにか確認する。</p> <p>□自分と主人公を照らし合わせることで、正直に言う難しさを理解し、人間の弱さを引き出す。</p> <p>□「どきどきした」時と「もっともっとどきどきした」時の主人公の心情の違いを考える。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>もっともっとどきどきしたとき、ようすけはどんなおもいだったかな？</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おこられるとおもった</li> <li>・2かいもうそをついてしまって、どうしようとおもった</li> <li>・こころがモヤモヤした</li> </ul>	<p>□主人公（ようすけ）の心情から、うそをついてしまった時の気持ちについて考えを深める。</p>
展開後段	<p>○ようすけは、どうすればよかったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをつかないで、しょうじきにいえばよかった</li> <li>・ほんとうのことをつたえればよかった</li> </ul> <p>○正直に言うことのよさについて考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうじきにいうと、こころがあかるくなる</li> <li>・あかるいこころになる</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スッキリする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">後悔しない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">明るくなる</div> </div> <p>○今までの自分を振り返り、正直でいることのよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうじきでいると、スッキリあかるくすごせる</li> </ul>	<p>□導入で出た、うそをついてしまった経験についても「どうすればよかったか」問い、自分に繋げながら考える。</p> <p>□問い返しや揺さぶりの発問で価値についての理解を深める。</p> <p>□お母さんの気持ちも考えることで、多面的・多角的に考える。</p>
終末	<p>○テーマについてもう一度問い、本時の学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをつかないで、しょうじきでいたい</li> <li>・うそをつかないことのよさは、あかるいこころでいられること</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>＜評価＞【観察】</p> <p>うそでごまかしをしないで、明るい心で楽しく生活していくことの大切さについて考えを深めている。</p> </div>